

2023年7月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、取り組むべき経営課題について実態を把握し、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査期間

2023年7月14日(金)～7月31日(月)

3 調査対象

市内事業者700社

4 調査方法

WEB調査

(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

5 回答状況

有効回答数	200 社
回答率	28.6% %

市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、前期に比べ改善傾向が見られたが、見通しについては、厳しい状況である。生産高・売上高は改善したが、仕入価格の上昇により、利益は依然厳しい状況である。

特別調査

- ・現状の経営課題について
- ・適格請求書等保存方式(インボイス制度)について
- ・SDGs(持続可能な開発目標)について
- ・戸田市商工会について
- ・事業承継について

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

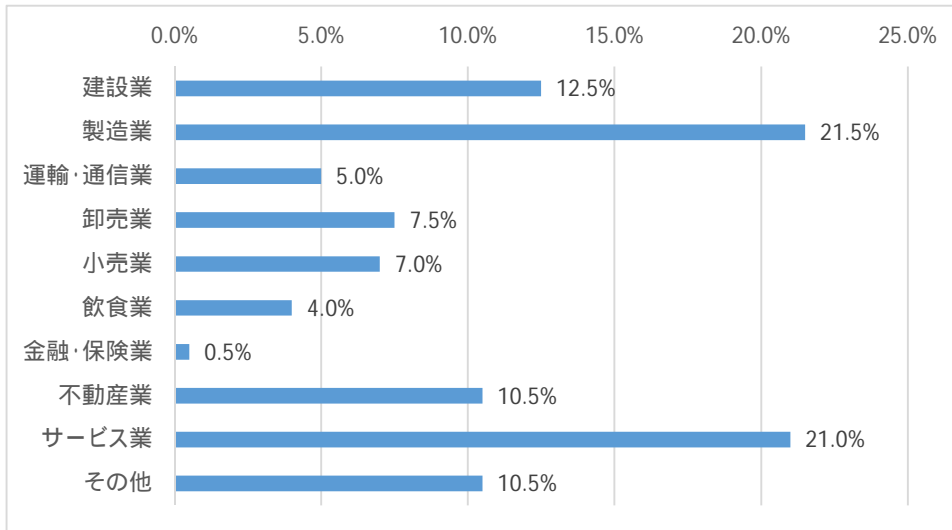
<例> 「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%
DI = 50% - 30% = 20

本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査の基本項目

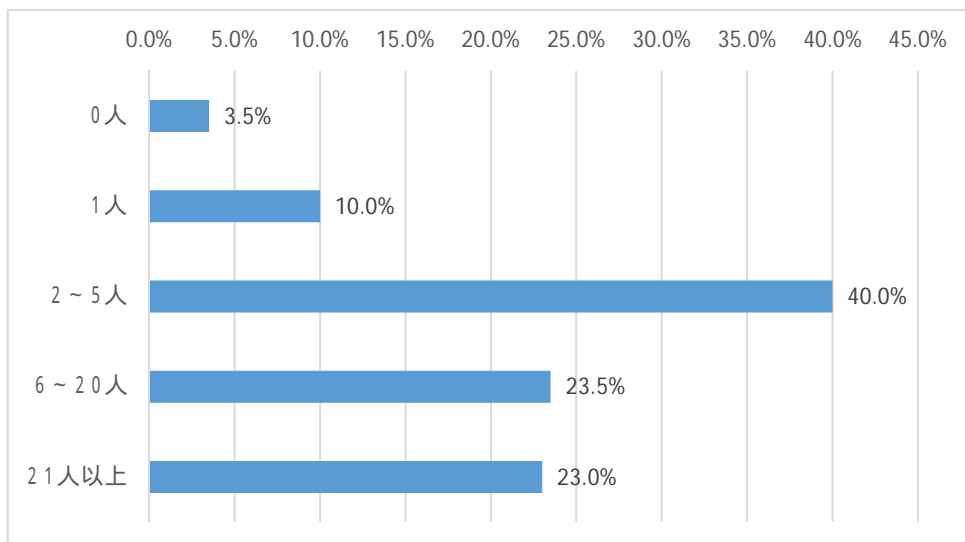
1 事業所の業種

前回に比べ、回答率が下がっており、業種分類は、「製造業」が21.5%、「サービス業」が21.0%、「建設業」が12.5%となっている。以下、「不動産業」、「その他」、「卸売業」、「小売業」、「運輸・通信業」、「飲食業」、「金融・保険業」の順となっている。今回の調査では「金融・保険業」は回答数が少なかったため「その他」に含めている。



2 従業員数

従業員数の分布は、「2～5人」が40.0%と一番多く、「6～20人」が23.5%、「21人以上」が23.0%となっている。「1人」、「0人」と回答したのは全体の約13.5%である。本調査では小規模の事業所の回答が中心となっている。



1 戸田市内の景況や貴事業所の動向について

Q1 景況や貴事業所の動向の「実績見込み」と「見通し」について

戸田市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

- ・実績見込み：令和5年度上期は、令和4年度下期と比べていかがか。
- ・見通し：令和5年度下期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。

なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入

10項目

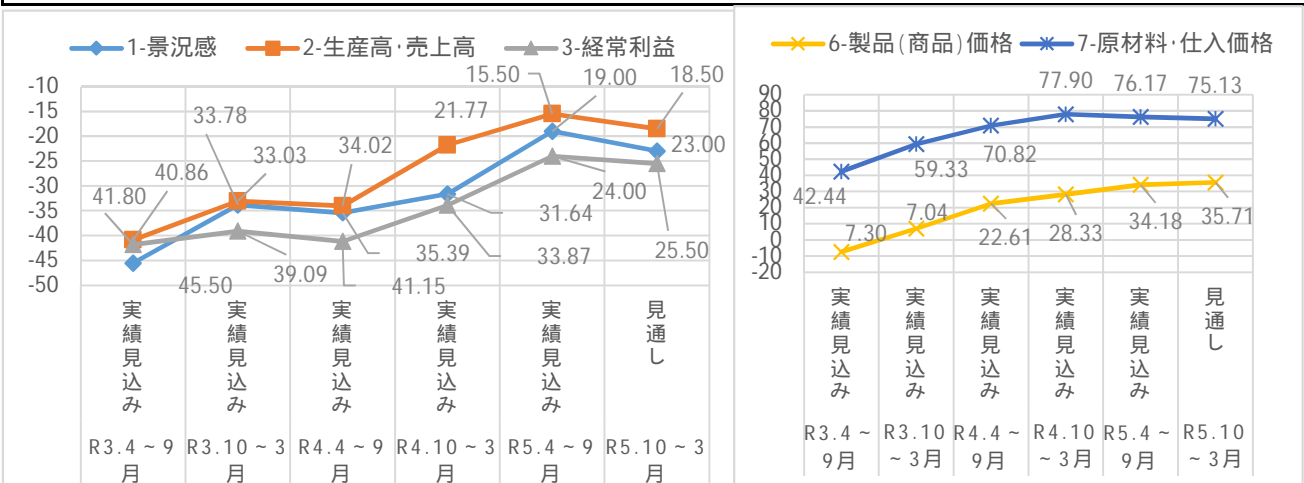
- (1)景況感 (2)生産高・売上高 (3)経常利益 (4)雇用人員
- (5)労働時間 (6)製品(商品)価格 (7)原材料・仕入価格
- (8)製品(商品)在庫 (9)資金繰り (10)設備投資

上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

[全体の概要]

「景況感DI」は-19.00であり、前期から12.64ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては4.00ポイント減少の-23.00と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-15.50であり、前期から6.27ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては3.00ポイント減少の-18.50と下降傾向である。「経常利益DI」は-24.00であり、前期から9.87ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては1.50ポイント減少の-25.50と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は34.18であり、前期から5.86ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても1.53ポイント増加の35.71と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は76.17であり、前期から1.74ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても1.04ポイント減少の75.13と下降傾向である。

下の折れ線グラフでは、景況感への影響の強い5項目(景況感、生産高・売上高、経常利益、製品(商品)価格、原材料・仕入価格)を掲載している。

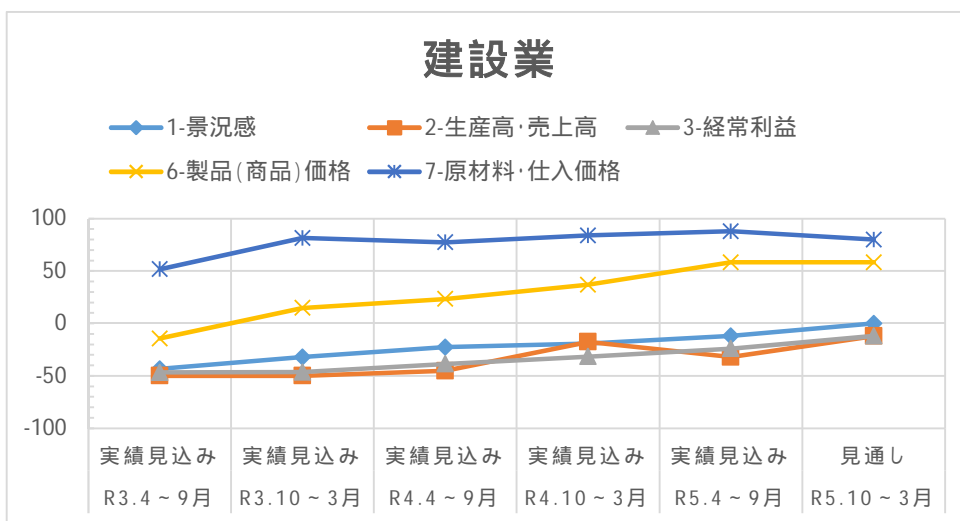


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	45.50	33.78	35.39	31.64	19.00	23.00
2-生産高・売上高	40.86	33.03	34.02	21.77	15.50	18.50
3-経常利益	41.80	39.09	41.15	33.87	24.00	25.50
4-雇用人員	15.96	25.45	19.50	28.69	30.30	32.66
5-労働時間	19.35	10.91	11.11	5.09	7.04	8.04
6-製品(商品)価格	7.30	7.04	22.61	28.33	34.18	35.71
7-原材料・仕入価格	42.44	59.33	70.82	77.90	76.17	75.13
8-製品(商品)在庫	9.25	3.43	7.14	2.05	1.59	5.82
9-資金繰り	25.81	21.72	25.51	24.59	11.56	14.07
10-設備投資	7.10	0.47	7.98	6.52	0.51	2.53

業種別の動向について

〔建設業の概要〕

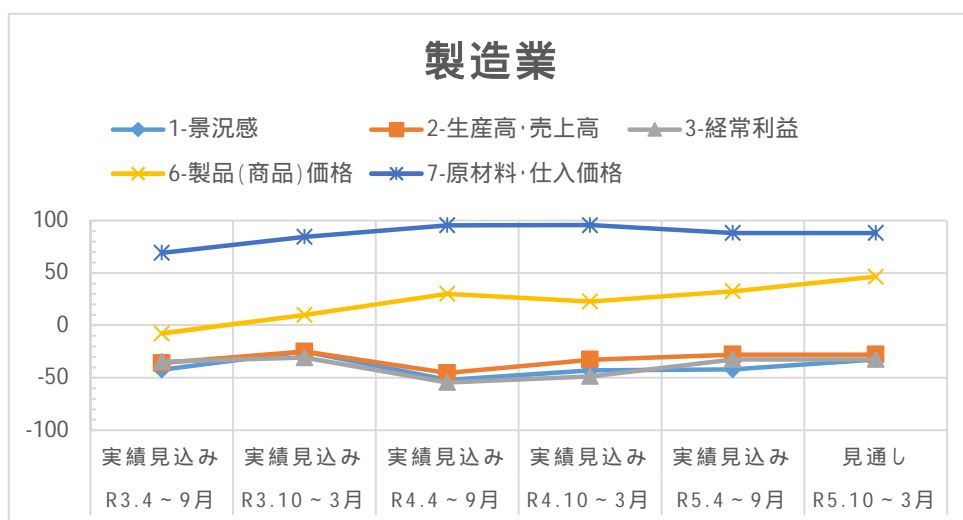
「景況感DI」は-12.00であり、前期から7.30ポイント増加し、改善傾向であり、見通しについても12.00ポイント増加の0.00と改善傾向である。「生産高・売上高DI」は-32.00であり、前期から14.46ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては20.00ポイント増加の-12.00と上昇傾向である。「経常利益DI」は-24.00であり、前期から7.58ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても12.00ポイント増加の-12.00と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は58.33であり、前期から21.30ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「原材料・仕入価格DI」は88.00であり、前期から4.07ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては8.00ポイント減少の80.00と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	43.33	32.14	22.58	19.30	12.00	0.00
2-生産高・売上高	50.00	50.00	45.16	17.54	32.00	12.00
3-経常利益	46.67	46.43	38.71	31.58	24.00	12.00
4-雇用人員	33.33	46.43	33.33	50.88	64.00	64.00
5-労働時間	33.33	17.86	9.68	1.75	4.00	4.00
6-製品(商品)価格	14.29	14.81	23.33	37.04	58.33	58.33
7-原材料・仕入価格	51.72	81.48	77.42	83.93	88.00	80.00
8-製品(商品)在庫	6.90	0.00	17.86	7.84	8.70	8.70
9-資金繰り	33.33	21.43	12.90	26.32	12.00	4.00
10-設備投資	16.67	14.29	12.90	12.50	12.00	4.00

〔製造業の概要〕

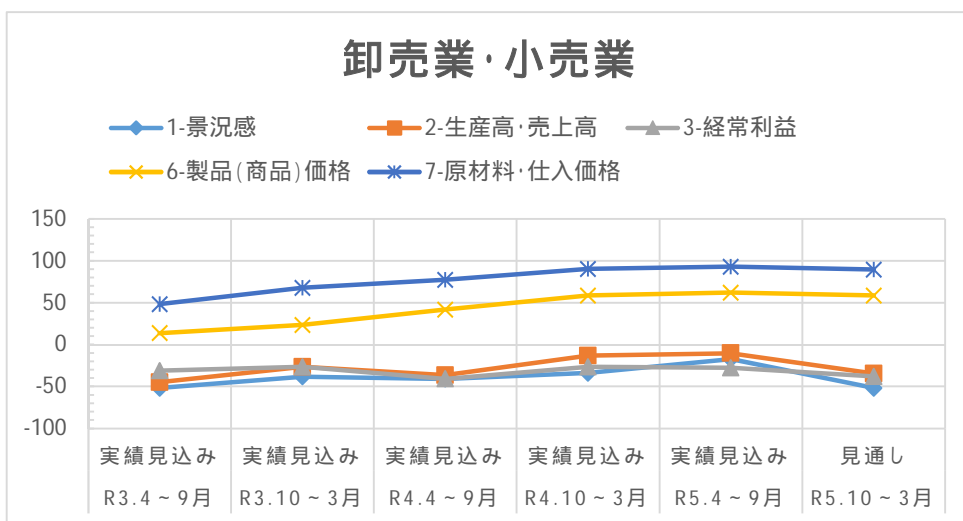
「景況感DI」は-41.86であり、前期から1.00ポイント増加し、改善傾向であり、見通しについても9.30ポイント増加の-32.56と改善傾向である。「生産高・売上高DI」は-27.91であり、前期から4.95ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「経常利益DI」は-32.56であり、前期から16.01ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「製品(商品)価格DI」は32.56であり、前期から9.70ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても13.95ポイント増加の46.51と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は88.10であり、前期から7.62ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	42.31	25.00	52.27	42.86	41.86	32.56
2-生産高・売上高	36.00	25.00	45.45	32.86	27.91	27.91
3-経常利益	34.62	30.77	54.55	48.57	32.56	32.56
4-雇用人員	15.38	30.00	20.45	25.71	20.93	25.58
5-労働時間	19.23	15.00	25.00	17.14	28.57	20.93
6-製品(商品)価格	7.69	10.00	30.23	22.86	32.56	46.51
7-原材料・仕入価格	69.23	84.62	95.45	95.71	88.10	88.10
8-製品(商品)在庫	4.00	10.53	18.60	7.25	4.76	9.52
9-資金繰り	15.38	22.50	34.09	33.82	11.63	18.60
10-設備投資	15.38	5.00	11.36	2.86	11.63	0.00

〔卸売業・小売業の概要〕

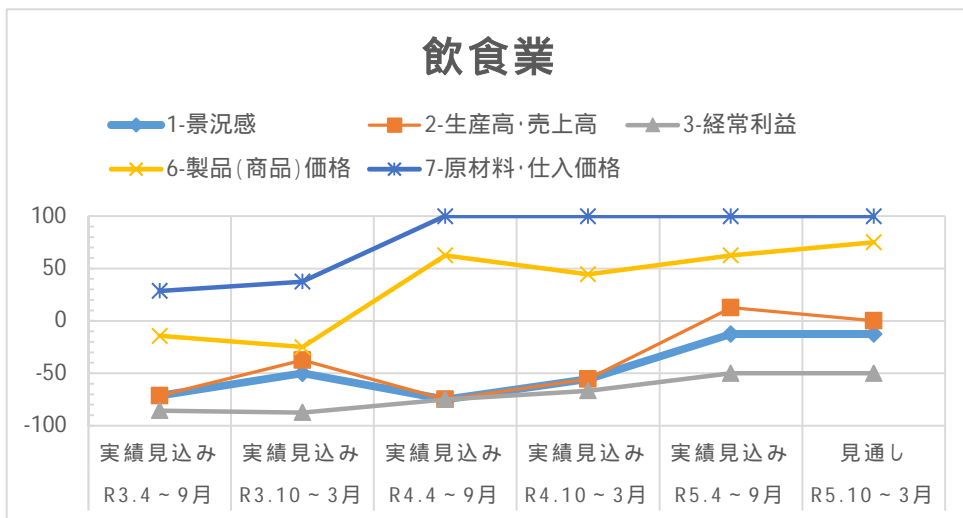
「景況感DI」は-17.24であり、前期から16.72ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては34.48ポイント減少の-51.72と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-10.34であり、前期から2.86ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては24.14ポイント減少の-34.48と下降傾向である。「経常利益DI」は-27.59であり、前期から1.17ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても10.34ポイント減少の-37.93と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は62.07であり、前期から3.58ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては3.45ポイント減少の58.62と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は93.10であり、前期から2.72ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては3.45ポイント減少の89.66と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	51.72	38.24	40.91	33.96	17.24	51.72
2-生産高・売上高	44.83	26.47	36.36	13.21	10.34	34.48
3-経常利益	31.03	26.47	40.91	26.42	27.59	37.93
4-雇用人員	24.14	14.71	20.45	15.09	20.69	24.14
5-労働時間	21.43	5.88	4.55	7.55	0.00	10.34
6-製品(商品)価格	13.79	23.53	41.86	58.49	62.07	58.62
7-原材料・仕入価格	48.28	67.65	77.27	90.38	93.10	89.66
8-製品(商品)在庫	6.90	17.65	2.27	5.66	17.24	6.90
9-資金繰り	20.69	20.59	27.27	24.53	24.14	27.59
10-設備投資	3.57	8.82	2.27	0.00	13.79	3.45

〔飲食業の概要〕

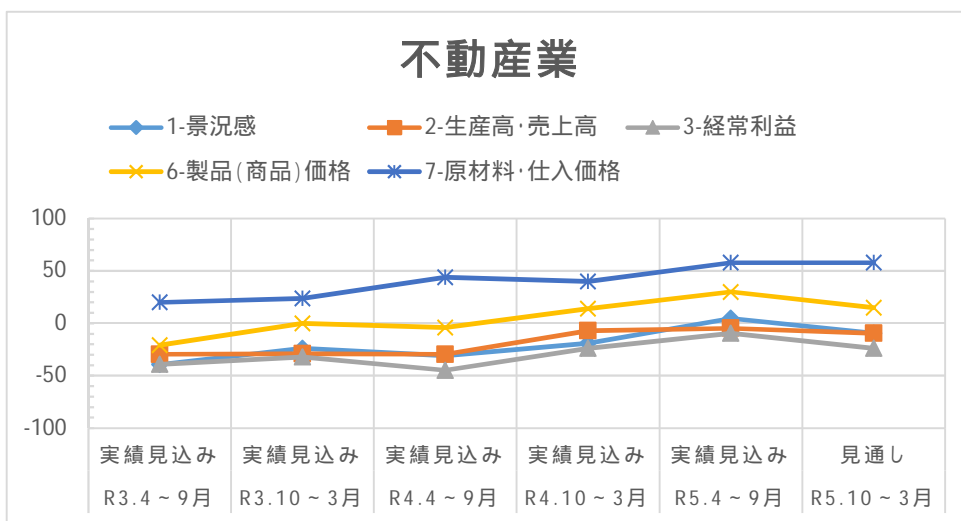
「景況感DI」は-12.50であり、前期から43.06ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「生産高・売上高DI」は12.50であり、前期から68.06ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては12.50ポイント減少の0.00と下降傾向である。「経常利益DI」は-50.00であり、前期から16.67ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「製品(商品)価格DI」は62.50であり、前期から18.06ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても12.50ポイント増加の75.00と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は100.00であり、前期から横ばい傾向であり、見通しについても同様である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	71.43	50.00	75.00	55.56	12.50	12.50
2-生産高・売上高	71.43	37.50	75.00	55.56	12.50	0.00
3-経常利益	85.71	87.50	75.00	66.67	50.00	50.00
4-雇用人員	14.29	25.00	50.00	66.67	50.00	50.00
5-労働時間	57.14	25.00	62.50	44.44	0.00	0.00
6-製品(商品)価格	14.29	25.00	62.50	44.44	62.50	75.00
7-原材料・仕入価格	28.57	37.50	100.00	100.00	100.00	100.00
8-製品(商品)在庫	57.14	25.00	12.50	11.11	12.50	12.50
9-資金繰り	14.29	0.00	37.50	33.33	12.50	12.50
10-設備投資	14.29	12.50	0.00	33.33	12.50	12.50

〔不動産業の概要〕

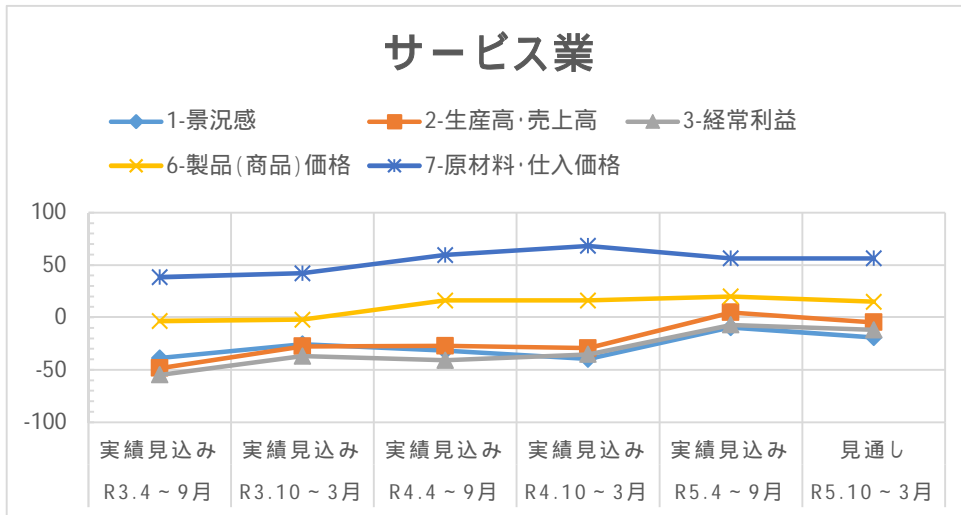
「景況感DI」は4.76であり、前期から23.81ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては14.29ポイント減少の-9.52と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-4.76であり、前期から2.38ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては4.76ポイント減少の-9.52と下降傾向である。「経常利益DI」は-9.52であり、前期から14.29ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては14.29ポイント減少の-23.81と下降傾向である。「製品（商品）価格DI」は30.00であり、前期から16.11ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては15.00ポイント減少の15.00と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は57.89であり、前期から17.89ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	39.29	24.00	31.03	19.05	4.76	9.52
2-生産高・売上高	29.63	29.17	29.63	7.14	4.76	9.52
3-経常利益	39.29	32.00	44.83	23.81	9.52	23.81
4-雇用人員	18.52	0.00	3.57	7.14	10.00	5.00
5-労働時間	3.70	8.33	0.00	4.76	9.52	4.76
6-製品(商品)価格	20.83	0.00	4.00	13.89	30.00	15.00
7-原材料・仕入価格	20.00	23.81	44.00	40.00	57.89	57.89
8-製品(商品)在庫	4.17	9.52	8.00	2.94	10.53	5.26
9-資金繰り	25.93	24.00	24.14	9.52	4.76	4.76
10-設備投資	11.11	17.39	14.81	17.50	0.00	0.00

〔サービス業の概要〕

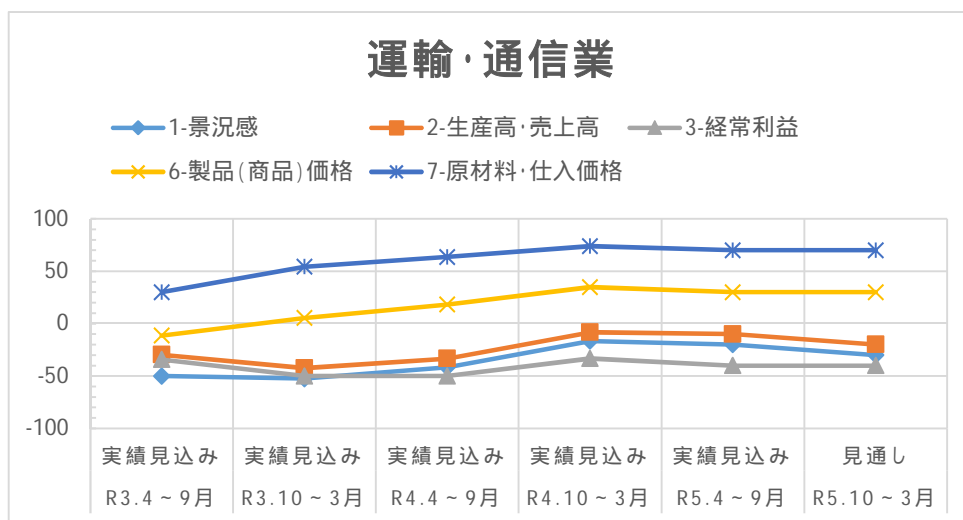
「景況感DI」は-9.52であり、前期から30.18ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては9.52ポイント減少の-19.05と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は4.76であり、前期から34.17ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては9.52ポイント減少の-4.76と下降傾向である。「経常利益DI」は-7.14であり、前期から28.15ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては4.76ポイント減少の-11.90と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は20.00であり、前期から3.87ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては5.00ポイント減少の15.00と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」は56.41であり、前期から11.84ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	38.71	25.53	31.82	39.71	9.52	19.05
2-生産高・売上高	48.39	27.66	27.27	29.41	4.76	4.76
3-経常利益	54.84	36.96	40.91	35.29	7.14	11.90
4-雇用人員	3.23	26.09	18.18	20.59	31.71	33.33
5-労働時間	12.90	8.51	9.09	1.47	2.38	2.44
6-製品(商品)価格	3.45	2.17	16.28	16.13	20.00	15.00
7-原材料・仕入価格	38.46	42.22	59.52	68.25	56.41	56.41
8-製品(商品)在庫	3.85	7.14	2.50	1.59	0.00	0.00
9-資金繰り	32.26	21.28	29.55	22.06	7.14	14.29
10-設備投資	13.79	0.00	11.90	8.96	9.76	7.32

〔運輸・通信業の概要〕

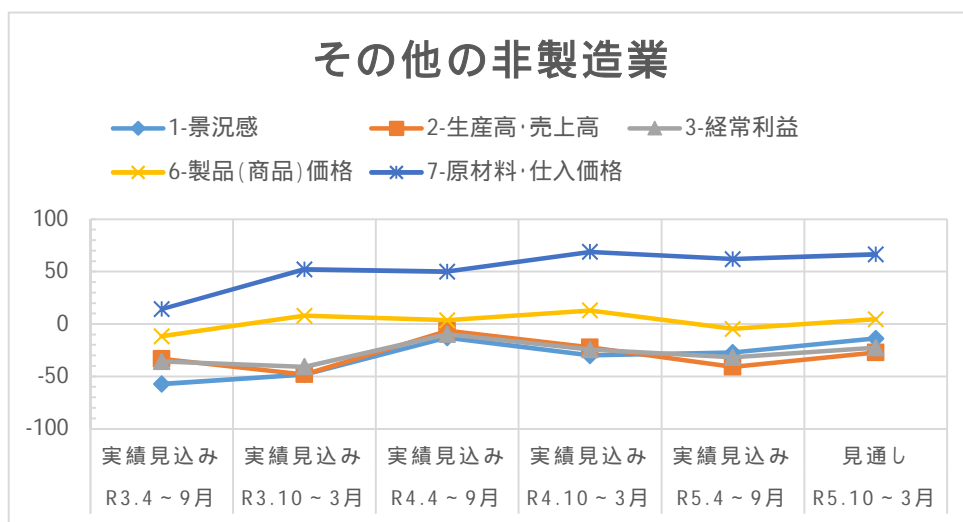
「景況感DI」は-20.00であり、前期から3.33ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても10.00ポイント減少の-30.00と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-10.00であり、前期から1.67ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても10.00ポイント減少の-20.00と下降傾向である。「経常利益DI」は-40.00であり、前期から6.67ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「製品(商品)価格DI」は30.00であり、前期から4.78ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「原材料・仕入価格DI」は70.00であり、前期から3.91ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	50.00	52.50	41.67	16.67	20.00	30.00
2-生産高・売上高	29.73	42.50	33.33	8.33	10.00	20.00
3-経常利益	34.21	50.00	50.00	33.33	40.00	40.00
4-雇用人員	5.26	30.77	50.00	54.17	50.00	50.00
5-労働時間	21.62	17.95	25.00	4.17	30.00	30.00
6-製品(商品)価格	11.43	5.41	18.18	34.78	30.00	30.00
7-原材料・仕入価格	30.00	54.29	63.64	73.91	70.00	70.00
8-製品(商品)在庫	15.15	5.88	27.27	0.00	0.00	10.00
9-資金繰り	27.78	25.64	41.67	16.67	0.00	10.00
10-設備投資	2.78	13.51	8.33	8.33	0.00	10.00

【その他の非製造業(金融・保険業、その他)の概要】

「景況感DI」は-27.27であり、前期から2.73ポイント増加し、改善傾向であり、見通しについても13.64ポイント増加の-13.64と改善傾向である。「生産高・売上高DI」は-40.91であり、前期から18.46ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては13.64ポイント増加の-27.27と上昇傾向である。「経常利益DI」は-31.82であり、前期から7.33ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては9.09ポイント増加の-22.73と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は-4.55であり、前期から17.59ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては9.09ポイント増加の4.55と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は61.90であり、前期から6.98ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては4.76ポイント増加の66.67と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	57.14	48.15	12.90	30.00	27.27	13.64
2-生産高・売上高	33.33	48.15	6.45	22.45	40.91	27.27
3-経常利益	35.71	40.74	9.68	24.49	31.82	22.73
4-雇用人員	0.00	15.38	6.45	32.00	22.73	31.82
5-労働時間	22.22	11.54	3.23	4.00	4.55	0.00
6-製品(商品)価格	11.54	8.00	3.70	13.04	4.55	4.55
7-原材料・仕入価格	14.29	52.17	50.00	68.89	61.90	66.67
8-製品(商品)在庫	16.67	13.04	4.00	4.88	5.00	0.00
9-資金繰り	38.46	26.92	9.68	28.57	14.29	9.52
10-設備投資	7.69	12.50	3.33	2.04	9.52	0.00

2. 貴社の現状の経営課題について

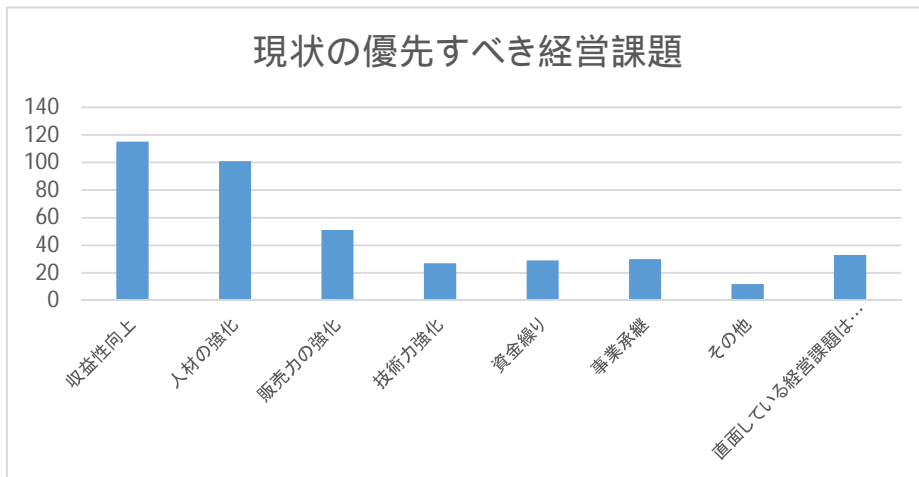
Q2-1 貴社の現状の経営課題(1番の優先課題)は？

Q2-2 貴社の現状の経営課題(次、2番目の優先課題)は？

現状の優先的に取り組むべき経営課題として多かったのは収益性向上が一番多く、次いで人材の強化、販売力の強化が挙げられた。

その他として以下の項目が挙げられた。

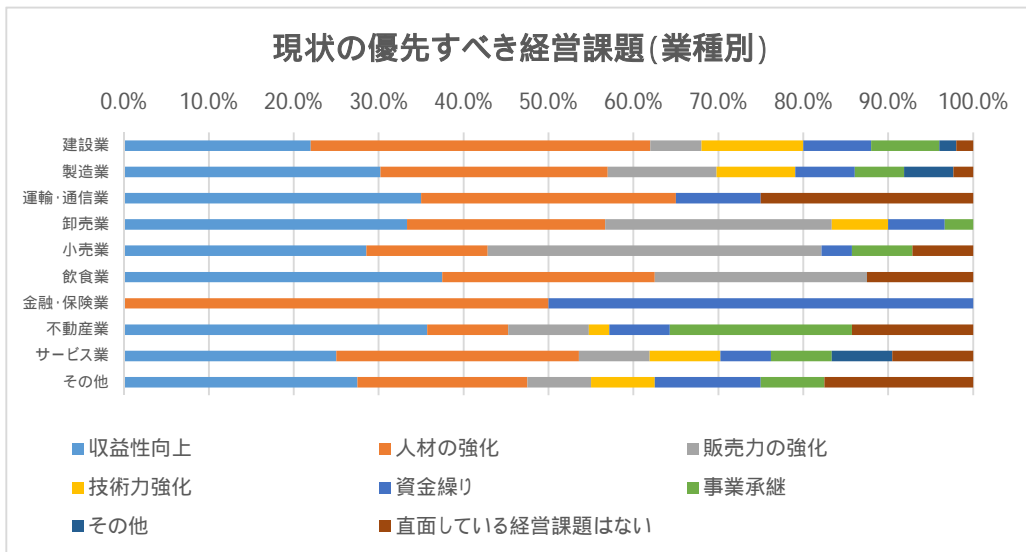
・人材の確保・コロナウイルス感染症の影響への対策・若者と高齢者の車離れによる収入減少・業界全体の縮小に伴う利益減少に対応する経費削減・電気料金の値上げと仕入れ価格高騰による価格転嫁・天変地異への対策・業界全体の縮小に伴う別業界の進出・能力の高い者の離職・雇用者解雇の緩和(企業を守るため)



業種別にみる現状の優先すべき経営課題

業種別に集計してみると以下の特徴が見られた。

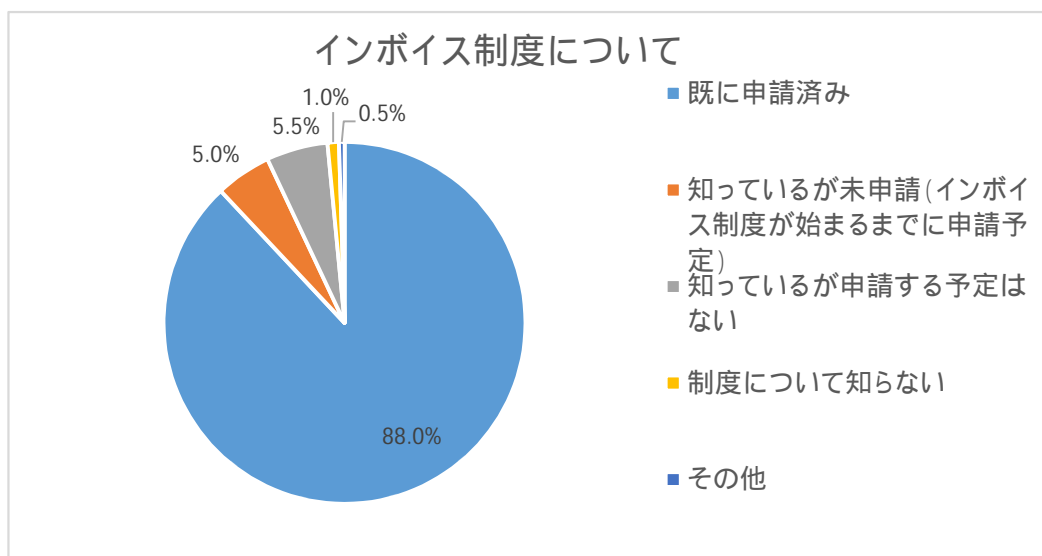
- ・製造業、運輸・通信業では、収益性向上が一番多く、次いで人材の強化が多かった。
- ・建設業、サービス業では、人材の強化が一番多く、次いで収益性向上が多かった。
- ・卸売業では、収益性向上が一番多く、次いで販売力の強化が多かった。
- ・小売業では、販売力の強化が一番多く、次いで収益性向上が多かった。
- ・飲食業では、収益性向上が一番多く、次いで人材の強化と販売力の強化が同率で多かった。
- ・金融・保険業では、人材の強化と資金繰りが多かった。
- ・不動産業では、収益性向上が一番多く、次いで事業承継が多かった。



3. 適格請求書等保存方式(インボイス制度)について

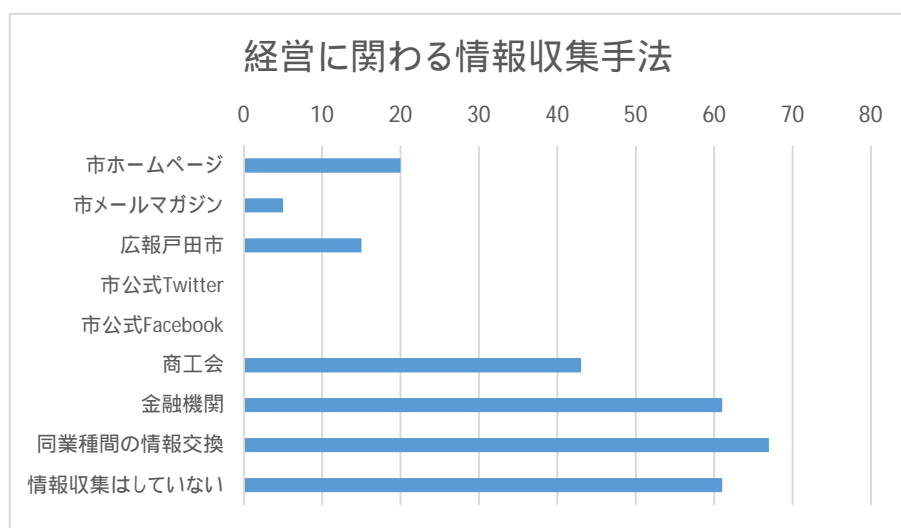
Q3-1インボイス制度についての対応状況は

- ・「既に申請済み」との回答が約9割であり、申請を予定している事業者を合わせると、全体の9割以上が適格請求書発行事業者に登録されることが推測できる。
- ・一方、「制度について知らない」との回答が1%あった。
- ・その他の回答としては、「税理士と相談中」があった。



Q3-2 経営に関わる情報収集方法は

- ・経営に関わる情報収集方法として、一番多く挙げられたのは「同業種間の情報交換」であった。
- ・次いで多かったのは「情報収集はしていない」、「金融機関」
- ・その他に多かったのは、「商工会」で、市の情報発信ツールよりも多く利用されていることが分かった。

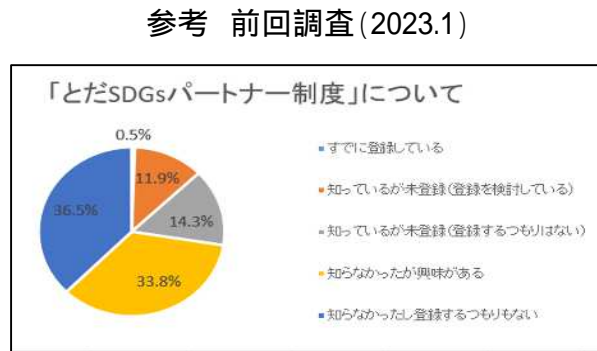
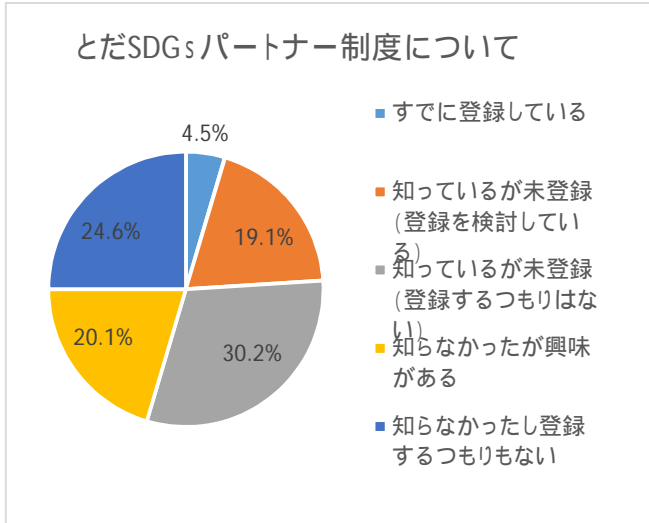


複数選択可

4. SDGs(持続可能な開発目標)について

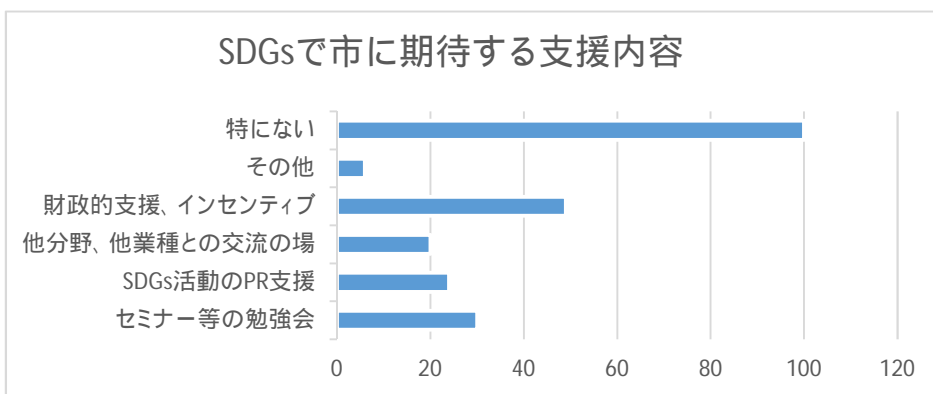
Q4-1 令和4年12月1日に「とだSDGsパートナー制度」が始まりましたが知っていますか。

- ・「すでに登録している」と回答したのは4.5%であり、登録を検討していると併せて23.6%だった。
- ・この制度を知っていたのは49.3%と前回より23.1%上昇した。
- ・知らなかったが興味があると回答したのは20.1%
- ・登録するつもりはないと回答したのは併せて54.8%を占めている。
- ・その他に寄せられた意見としては、「具体的な内容を理解できていない」、「2021年に埼玉県のパートナー制度に先に登録してしまったため、そちらで主に活動している」などがあった。



Q4-2 SDGsで市に期待する支援内容

- ・「特にない」が一番多かった。
- ・次いで多かったのは「財政的支援、インセンティブ」
- ・その他は「セミナー等の勉強会」、「SDGs活動のPR支援」、「他分野、他業種との交流の場」の順だった。

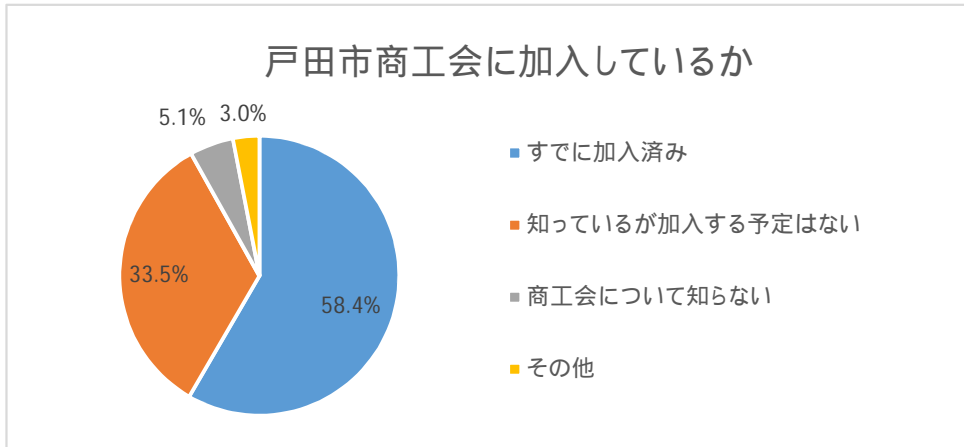


複数選択可

5. 戸田市商工会について

Q5-1 戸田市商工会に加入しているか

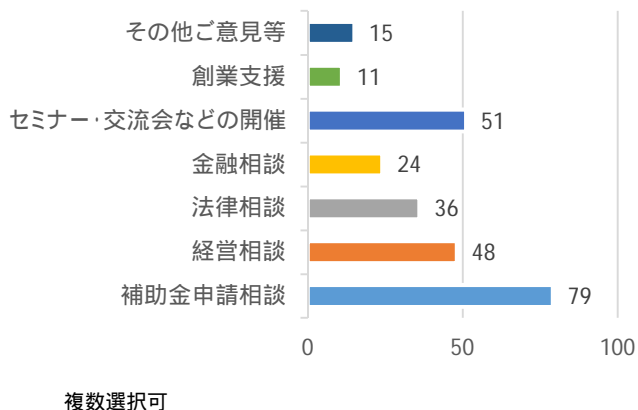
- ・「すでに加入済み」と回答したのは58.4%だった。
- ・「知っているが加入する予定はない」が、33.5%だった。
- ・商工会について知らないと回答したのは、5.1%だった。
- ・その他に寄せられた意見としては、「他市の商工会に加入済」、「加入検討中」、「今のところ縁が無かった」などがあった。



Q5-2 戸田市商工会に期待する役割

- ・「補助金申請相談」が一番多かった。
- ・次いで多かったのは「セミナー・交流などの開催」
- ・その他は「経営相談」、「法律相談」、「金融相談」の順だった。
- ・その他ご意見では、「社福企業の役割」、「人材紹介」、「環境政策やCO2削減の推進にかかるサポート」があった。

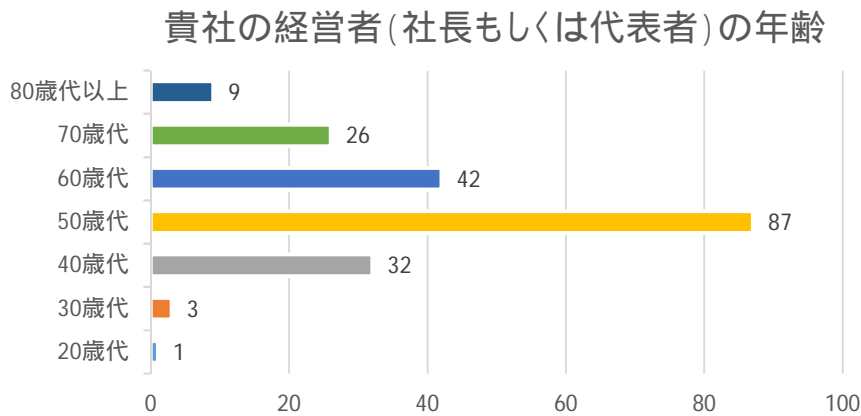
戸田市商工会に期待する支援内容



6. 事業承継について

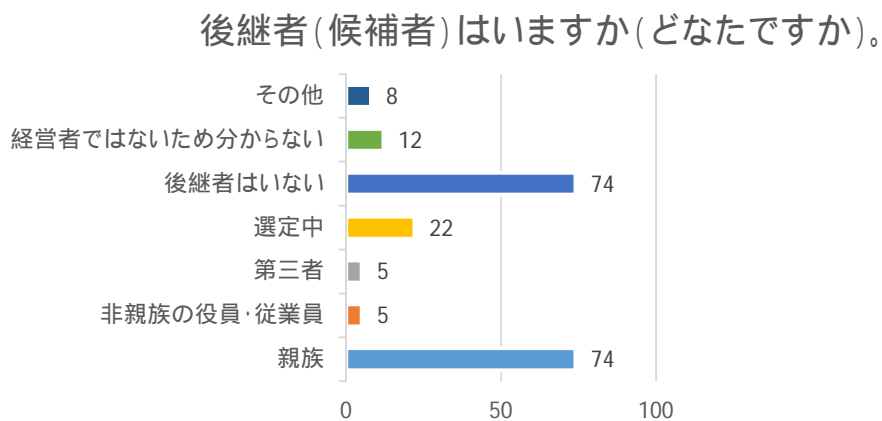
Q6-1 貴社の経営者(社長もしくは代表者)の年齢

- ・貴社の経営者(社長もしくは代表者)の年齢として、一番多く挙げられたのは「50歳代」であった。
- ・次いで多かったのは「60歳代」、「40歳代」であった。



Q6-2 後継者(候補者)はいますか(どなたですか)。

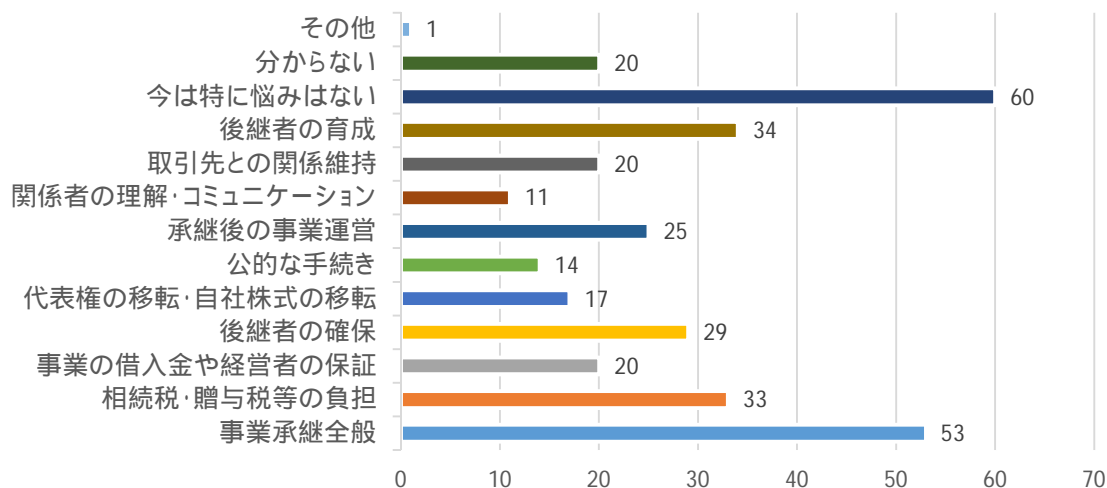
- ・「親族」と「後継者はいない」と回答したのが同数で一番多かった。
- ・次いで「選定中」が多かった。



Q6-3 事業の引継ぎで課題と思われること、悩んでいること

今は特に悩みはないと回答したのが一番多かった。
次いで「事業承継全般」、「後継者の育成」、「相続税・贈与税等の負担」であった。

事業承継の課題、悩み



複数選択可

戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2023年7月)
令和5年9月20日発行 戸田市 環境経済部 経済戦略室

実施・編集・発行 : 戸田市 環境経済部 経済戦略室
048-441-1800(内線374)